

## 資産運用レポート：防げた事故

### 1. はじめに

2010年6月14日、日本風力開発は『平成22年3月期有価証券報告書提出遅延及び当社株式の監理銘柄(確認中)への指定見込みに関するお知らせ』というニュースリリースを出します。

投資家にとっては、まさに“寝耳に水”でした。翌日の株式市場では売り注文が殺到。3日連続ストップ安比例配分となり、全ての売り注文が約定されたのは4日目でした。

6月14日終値・・・183,600

6月15日終値・・・143,600(ストップ安比例配分)

6月16日終値・・・113,600(ストップ安比例配分)

6月17日終値・・・83,600(ストップ安比例配分)

6月18日寄付・・・65,600

その結果、ホルダーは持株を売るに売れず、注文が通ったときには株価が約1/3になっていました。たった4日で多大な損失を被る最悪の事態です。

問題は、このケースが止むを得ない“事故”だったのかどうかです。事前に防ぐ手立てはなかったのでしょうか？

日本風力開発 日足チャート



(出典：m s n マネー)